

弘田知秋 しゅう 俚謠作家。明治八年一月一日高知縣生れ、昭和十二年一月六日歿（一八七―一九三七）。本名光伸。陸軍教導團に入り砲兵曹長となる。退役後東京市内の小學校に勤務。俚謠を能くし、黒岩沢香の知遇を得く大正三年『萬朝報』俚謠選者とあり、また『俚謠雜誌』『鶴子』を創刊主宰した。

遺稿集『みづの海』（昭和十二年七月十日弘田しむ刊）。